

第26回福岡県消防操法大会 小型ポンプの部 優良賞受賞



第26回福岡県消防操法大会が令和4年9月4日（日）福岡県消防学校（福岡県嘉麻市牛隈1794番地）にて行われました。小型ポンプの部に19チームが出場する中で、大牟田市消防団は4位に入賞し、優良賞を受賞しました。



第17号
2022年12月発行
発行：大牟田市消防団予防委員会

分団本部 本部長 石井 洋徳

第26回福岡県消防操法大会出場におきまして、各位の激励、御サポート、関係各位の働き、御理解のおかげで、過去最高順位（4位）の賞をいただきました。心より感謝申し上げます。今回の貴重な経験を活かし、指導員と共に消防団活動に努力してまいります。

高取分団 キャプテン 寺崎 雄希

今回チームとして4位入賞することが出来ました。優勝を目指していたので改めて操法の難しさを痛感しました。

大牟田市総合防災訓練参加

令和4年11月20日（日）、大牟田市立手鎌小学校において、3年ぶりとなる令和4年度大牟田市総合防災訓練が開催されました。大牟田市消防団は、放水訓練、水防工法訓練、地域住民避難誘導訓練、消防団装備品展示の4つの訓練等に、車両8台と45名の団員が参加しました。



放水訓練

参加者の声

女性分団分団長 吉原 摩衣

女性分団も防災訓練へ参加させて頂きました。5年間保存の備蓄水などを配布し、防火衣を着てもらい写真撮影など、たくさんの方に喜んで頂きました。



中友分団分団長 宇木 厳史

11月20日（日）大牟田市手鎌小学校において大牟田市総合防災訓練が開催されました。数多くの官民防災機関が参加され、災害時を想定した様々な機関ごとの対応に驚きとともに心強く感じました。消防団も同じく災害時には地域の防災のために活動致します。訓練会場では中友、明治分団が協力しあい放水訓練を行い、西部方面隊は河川堤防破壊を想定しての土のうを積み上げて築堤する水防工法訓練を行いました。



放水訓練



水防工法訓練

手鎌分団分団長 増永 喜秀

11月20日の防災訓練には早朝よりたくさんの方にご参加いただきありがとうございます。手鎌校区の防災訓練は、コロナ禍で約3年ぶりに開催されました。訓練の想定は、大雨洪水警報が手鎌校区に8時30分発令、各公民館に住民の方たちが避難され、そこに消防団が駆け付け住民の皆さんを避難先へ安全に誘導するという訓練でした。情報伝達がスムーズに行かず無線もなかなか通じず訓練の大切さを実感致しました。



消防団展示コーナー

白川分団 1番員 前田 翔輝

今回初めて県大会に出させて頂きました。自分も初めて小型ポンプ操法を経験して、ポンプ操法とは違った新しいものを経験できて良かった結果です。結果は4位と悔しい結果でしたが、また出場できる機会があれば優勝できるように頑張ります。

高取分団 2番員 龍 大貴

みんなと一致団結して、挑んだ県大会は一生忘れなれない思い出になりました。大会当日はとても緊張しましたが、練習通りできてホッとしました。サポートして頂いた皆様、本当にありがとうございます。

銀水分団 3番員 鳥越 健太

今回2回目の県大会に参加させて頂き、山崎の事を学び、大切な仲間も出た。経験をさせて頂きました。大会で学んだことを分団に持ち帰り、今後の活動に活かして行きたいと思っております。指導員、警防員、サポートの方々に大変お世話になりました。

銀水分団 補助員 徳永 昂洋

今回、自分は初めての県大会訓練をさせて頂いて、色々な方と知り合えたり仲間が出来ました。自分も仲間です。自分はこの仲間たちと一緒に活動出来たことを誇らしく思っています。今後とも消防団活動を行っていきたく思います。



しました。また、小学校では自衛隊・警察・消防の熟練した訓練を間近で見れて大変になりました。体育館での避難所設置運営訓練では各自自治体の方たちがコロナ感染予防を踏まえ運営の手順や必要な物資、注意点を確認しつつ避難者の誘導を素早く行っていました。私と一市民ですが大変貴重な体験をさせて頂いた。今日の日が役に立つことを願います。最後にこの日のために準備や指導をしてくださった皆様にお礼申し上げます。

第24回大牟田市消防団ポンプ操法大会開催

令和4年6月5日(日)大牟田市笹林公園にて、第24回大牟田市消防団ポンプ操法大会が開催されました。
 自動車の部に8チーム、小型ポンプの部に10チームが出場しました。



羽山台分団
分団長
小川 和雄

大会まで約5週間、週休1日で訓練を行いました。
 例年通り早朝の訓練であったため、ほとんどの団員が休むことなく参加してくれました。
 久しぶりの大会で初出場者ばかりでしたが、経験者のサポートがすばらしかったです。
 全国的にポンプ操法の



ありかたについての議論があり、家庭や仕事に影響を及ぼすことがあるとは思いますが、その代わりになりうる訓練がないので全力で取り組んでいます。
 ポンプ操法の操法経験者と未経験者では現場での所作が全然違うと思っています。



倉永分団
分団長
青柳 恵士



署団合同地域防災啓発訓練実施

令和4年11月13日(日)に、大牟田市岩本新町、新大牟田駅付近にて、大牟田市消防署と大牟田市消防団と合同で、火災を想定した火災防ぎよ訓練を実施しました。



団長
藤吉 研史

地域住民の方々が見守る中、水利より火点までの距離が遠い想定で中継をする事になる訓練であったが、スムーズな行動が出来たと思います。
 指差し呼称がもう少しハッキリしていたらもっと良かったと思います。
 今後も各分団においては定期的な訓練及び備品点検等を行い有事の際には地域住民の安心安全に尽くされるよう願います。

副団長
西山 孝和

火災が発生した事を想定した訓練で災害時に的確で迅速な対応ができる判断力と行動力を身につける事が大事です。
 市民の皆様は、何らかのトラブルが発生しても落ち着いて迅速な対応ができる様に日頃より心がけてください。

吉野分団 分団長
境 啓志

地域啓発訓練が吉野分団の地元新大牟田駅でありました。
 吉野分団は元ポンプでしたが、送水できないトラブルがあり、次の分団にご迷惑をおかけしました。
 訓練終了後、団員よりポンプの取り扱い訓練をしないと声が出て、今回の訓練で団員の士気も向上したと思います。
 地元のために吉野分団一致団結して行きます。
 今回の訓練はコロナの影響もあり2年ぶりでした。



大牟田市ポンプ操法大会結果

	自動車の部	小型ポンプの部
優勝	羽山台分団	倉永分団
準優勝	三池分団	大牟田中央分団
3位	平原分団	手鎌分団
4位	白川分団	銀水分団
5位	天領分団	駿馬分団

市のポンプ操法大会が5年ぶりに開催されました。倉永分団は、5月の連休明けから訓練を開始。例年各部輪番制で大会に出場していましたが各部団員不足や高齢化もあり、初めて混成チームでの出場と成りました。
 選手4人中2人は初めて他の2人は前回とは違う番員での出場であり最初は大変でしたが、3部

部長で指導員でもある世戸口君の熱心な指導と団員さんのサポートに選手達も暑さや仕事疲れの中訓練に一生懸命励んでくれました。大会当日は雨で最悪の状況でしたが訓練の成果を遺憾なく発揮し優勝することが出来ました。大会後団員さんの士気もあがり2年後の大会に出場したいと言ってくれた団員さん聞いて改めて操法大会の大切さを感じました。自分に何が出来るのか分かりませんが、少しでも役に立てれば良いかなと思います。

